

自治体の紹介

背景



- 中富良野町は北海道のほぼ中央に位置し、富良野盆地の自然と景観に恵まれた小さな町である。農業を中心に発展し、今ではラベンダー畑をはじめとする美しい自然景観を楽しみに年間約110万人が訪れている。「農作物の宝庫」でもあり、お米、メロン、玉ねぎ、スイートコーンなど多くの農作物を栽培している。

「住みたい」のに「住めない」矛盾を解く

子育て移住ニーズ

- 豊かな大自然と抜群の教育環境が子育て世帯が本町へ移住する目的

空き家が「市場に流通しない」

- 現役世代が即入居できる中古住宅が市場に流通していない

「新築」しか選択肢がない

- 資材・建材コスト急騰により、子育て世代等の住宅取得が極めて困難な状況

現状の課題

事業の 目的

- ・ 移住体験プログラムや保育園留学等で獲得した「中富良野町のファン（関係人口）」を一過性の交流で終わらず、「30年続く定住人口（現役・子育て世代）」へと確実に引き上げる
- ・ 物価高騰に伴う「新築住宅取得コストの壁」及び地域特性である「空き家非流通」という障害を取り除き、「お試し移住」から「定住」まで、途切れのないルートを確立する
- ・ 現役世代の都市部流出を食い止め、地域の学校、コミュニティ、及び地域経済を維持する強固な基盤を創出

事業 内容

お試し移住から定住までを繋ぐ「3つのステップ」

関係構築

- 移住体験プログラム及び保育園留学等の拡充
- まずは町に滞在し、優れた子育て環境と暮らしの魅力をリアルに体感

伴走支援

- 就労・子育て・暮らしの疑問に寄り添うワンストップ窓口の運営
- 「空き家相談」にも対応

定住支援

- 物価・資材高騰に苦しむ子育て世帯等へ、「新築住宅取得支援」を実施



得られる 成果等

定住率の向上

- お試し移住で終わらず、「住宅取得の壁」を壊すことで、現役・子育て世帯等の定住率を引き上げる

地域経済とコミュニティの維持

- 現役世代が町に根を張ることで、学び場の維持、地元での消費、労働力の確保

機会損失のストップ

- 「中富良野町に住みたい」と願う優秀な人材を都市部へ流出させず、町独自の活力へ変える

寄附を する メリット 等

企業のメリット/企業との連携イメージ

- ・ 一過性の現金給付ではなく、「移住から定住までの仕組み」を共創したという本質的な社会課題解決への関与実績を樹立
- ・ 自社の活動報告書等で「確かなサステナビリティへの取組」として広くアピール可能
- ・ 自社の資金が「過疎化・人口減少」という明確な社会課題の解決に直接役立っているプロセスを社内公開

連絡先

北海道中富良野町企画課まちづくり推進係（担当：齋藤・澤山）

TEL:0167-44-2133 MAIL:machi@nakafurano.jp